

4年生 社会科見学

見て、聞いて、体験して、美濃和紙の伝統を学ぶ

11月19日（金）に、美濃市のうだつの上がる町並み散策と美濃和紙の里会館で紙漉き体験を行いました。



うだつが作られた時代や形、大きさが違うこと、300年前に大火事が起こったこと、瓦の上に祠がまつられていること、昔の町並みを残すために工夫していることなどをガイドの方に教えていただきました。



～旧今井家～

奥座敷の障子に使われている和紙が百年後には白くなることに驚いていました。

～うだつの町の水琴窟～

日本の音風景百選に選ばれた音色に耳を傾けていました。



～あかりアート館～

歴代の和紙の大賞作品を見て、和紙のもつ可能性と技術に感動！



紙漉き体験では、漉き舟の中に入った“こうぞ”の繊維を“すけた”で持ち上げ、縦揺りや横揺りを繰り返し行い、自分だけの素敵な和紙を作ることができました。

子ども達は「“すけた”が重くて動かすのが難しい。持ってもらってないと自分が動く。」「縦揺りや横揺りを何回もしないといけないなんて大変だった。」「こんな重い物を持って作るなんて職人さんはすごい。」と、勉強して理解したことに加えて、体験したことでさらに紙漉きの難しさや苦勞を知ることができました。